

# 「JST」「サポイン」開発補助金セミナーの開催

## 企画委員会

4月7日(火) 13:30～17:00、日本真空工業会(JVIA)事務局会議室にて、受講者12名の参加のもと「JST」「サポイン」開発補助金セミナーを開催しました。

本セミナーは、日頃、新しい技術はあるが開発費の捻出に苦労されているJVIA会員企業様のために、「JST」、「サポイン」という事業支援の当事者から直接その内容、応募方法等を説明して頂く場として、毎年度初めに開催しています。

## 開催プログラム

### 1. JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)の事業について

今回はJSTの主な事業の一つである「科学技術イノベーション創出の推進」として「産学連携による研究開発成果の展開(企業化開発支援)」の中の以下三つのプログラムの説明がありました。

#### (1) A-STEP 事業

(講師:JST産学連携展開部 研究支援グループ  
副調査役 塩野様)

A-STEP(研究成果最適展開支援プログラム)は、大学・公的研究機関などで生まれたすぐれた研究成果(技術シーズ)の発掘から実用化に至るまで、最適な支援タイプの組み合わせにより、シームレスに中期的な研究開発を推進する競争的資金を支援する事業です。これまでの申請・採択件数、採択技術分野、採択企業状況等を交えて説明がありました。

#### (2) NexTEP 事業

(講師:JST産学協同開発部 事業推進グループ  
シニア技術移転プランナー 平本様)

NexTEP(産学協同実用化開発事業)は、大学等の研究成果に基づくシーズを用いて企業等が行う開発の中で、リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、持続的成長につなげることを目指している事業です。開発費が1～15億円、開発期間が10年以下、開発不成功時90%返済

不要、企業の規模に制約がない等のこと。過去の採択課題及び採択企業・大学の紹介がありました。

#### (3) 先端計測分析技術・機器開発プログラム事業

(講師:JST産学連携展開部 先端計測グループ  
主査 岡部様)

先端計測分析技術・機器開発プログラムは、最先端の研究やものづくり現場でのニーズに応えるため、創造的・独創的な研究開発の基盤となる先端計測分析技術・機器の研究開発を推進する事業です。開発公募は要素技術タイプと機器開発タイプがあるとのことでした。

#### 2. 「サポイン」制度および事業管理団体の役割について

(講師:タマティールエルオー株式会社(TLO)  
研究成果移転事業部長 松永様)

サポインとはサポーターインダストリ(ものづくり基盤技術)のことで、経産省の実施する戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)のことです。サポイン事業は、中小企業・小規模事業者が、大学・公的研究機関等と連携(共同体)として行う「ものづくり技術を活用した研究開発」等の費用の2/3を補助するが、TLOはこの事業の運営管理者として、共同体の組織化から支援する会社です。その役割について採択された実例を挙げて説明がありました。

#### 3. 新改正分野における「サポイン」提案書記載のポイント

(講師:山口大学 大学院理工学研究科 栗巣様)

サポイン事業の基盤技術が今年2月より12分野となったが、真空技術が関わりのある分野が以下6分野になる。「精密加工」「製造環境」「接合・実装」「表面処理」「材料製造プロセス」「測定計測」。提案書の内容である審査項目、提案テーマ、研究開発の項目についてそれぞれ記載のポイントを解説いただきました。

今回は、講師の方々の経験と実績を基にした判りやすい説明と、受講者の方々からの活発なご意見、質問等があり、たいへん有意義なセミナーとなりました。受講者の皆様へのアンケートでは全員の方から、満足/やや満足、同様の説明会にはJVIAメンバの参加を勧めたいとの回答を頂いたほか、公開情報では不明だったことが説明に含まれていて良かったなどのご意見が寄せられました。

最後に、今回セミナーに参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。



受講風景